

平成28年度第3回太田地域協議会会議録

平成28年9月5日

太田地域協議会

平成28年度第3回太田地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	1
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■協議	3
(1) 地域づくり事業補助金（地域枠予算Ⅲ型）交付申請額の変更について	3
(2) 平成28年度地域枠予算執行事業について	5
■その他	9
■閉会	13
■署名	14

平成28年度 第3回太田地域協議会 会議録

■日 時：平成28年9月5日（月） 午後2時00分

■会 場：太田支所 2階 会議室

■出席委員：10名

大信田 孝文、 柏谷 良雄、 鈴木 栄子、 高橋 文子、
小柳 真理子、 小松 泉、 高橋 清一郎、 高橋 洋、
根本 昇、 水谷 英明

■欠席委員：5名

石崎 尚、 伊藤 勝良、 富木 勇、 川原 猪利、
高貝 恵子

■出席職員：7名

安達 成年（太田支所長） 福原 幸二（市民サービス課参事）
加藤 栄子（市民サービス課参事） 煤賀 義博（農林建設課長）
煤賀 康典（太田公民館長） 藤澤 寿史（地域活性化推進室主幹）
菅原 直久（地域活性化推進室副主幹）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 協 議
 - (1) 地域づくり事業補助金（地域枠予算Ⅲ型）交付申請額の変更について
 - (2) 平成28年度地域枠予算執行事業について
- 6 そ の 他
- 7 閉 会

（午後 2時00分 開会）

○安達太田支所長（以下「支所長」と表記）

定刻となりましたので、地域協議会を始めさせていただきます。

本日の協議会は委員の2分の1以上の出席がございますので、本協議会は成立いたしますことをご報告いたします。

それから、発言の際には会議録作成のためマイクをお使いくださるようお願いいたします。

会議の進行につきましては、規定によりまして高橋会長にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

○高橋太田地域協議会会長（以下「会長」と表記）

皆さん大変お忙しい中ありがとうございます。一つは大変心配しておりました大曲の花火、まず無事に、全国的な行事ですので延期したりいろんなことが起きるだろうと。それから台風ですけれども、運よく逸れていきました。あのニュースのとおり見ますと、これからどのようなことが起きるか、どういう対処をしなければいけないか、これはなかなか我々が経験したことのないことがこれからいつでも起きるだろうという心構えは必要かと思えます。ということで、今日の協議会よろしく申し上げます。

それでは、座って進めさせていただきます。ただいまから平成28年度第3回太田地域協議会を開会いたします。

安達支所長からご挨拶をお願いいたします。

○支所長

あらためまして、本日はお暑い中お集まりいただきましてありがとうございます。先ほど会長がおっしゃったとおり、花火も終わりました、台風もなかなか珍しい形でこちらへ進んできたということで、昨年7月の集中豪雨のことをちょっと思い出しまして、かなり被害が及ぶのかなと思いましたが、たまたま山を越えられなかったということで、私と同じように足の短い台風だったようでちょっと越えられなかったのかなというふうに思っておりますけれども、ただ岩手県それから北海道の方が大変被害を被ったということで。大仙市も岩手県宮古市さんへ東日本大震災以来職員を2人派遣してございます。その方々の報告によりますと、宮古市もかなり市役所の周りが被害があったということで、市の方では要請があれば支援に向かうというふうな気持ちはありますけれども、特別あちらからはどうのこうのということはないということで、まず自分達でやるということだったようですけれども、いずれ市の方も隣の県ですし、いろいろお世話になっているということもあって、今後も何かあれば助け舟を出そうと。あちらの方でも何かあれば私たちに助け舟を出そうというふうな気構えでいると思いますので、皆さんにも知っていただきたいと思えます。

なかなか残暑が厳しくて、暑さ寒さも彼岸までということで、彼岸までということはまだあるのかなと思えますけれども、なるべくなら早く終わって稔りの多い秋を迎えていただいて、たっぷりと穂波が映えるというふうになっていただければと思います。

本日は様々な案件ございますけれども、ひとつなんとか皆さんからいろいろご審議いただいて、いい方向に向かいたいと思いますので、なんとかよろしくお願ひしたいと思ひます。

それと、行事も順調に進んでまいりまして、8月の夏まつりの方もかなり地域で盛り上がったということで、先週の土曜日この地域でおはら節の全国大会がございまして、それにもかなりの人に来ていただきました。今週はグラウンド・ゴルフ場で南部忠平杯の全国大会ということで、今度9月の末になりますと500歳野球ということでいろいろ行事が目白押しですけれども、地域の皆さんからもいろいろ見学等していただいて、何かの話になればなど、地域も盛り上がればなど思っておりますので、なんとかよろしくお願ひしたいと思ひます。本日はよろしくお願ひします。

○会長

ありがとうございました。

それでは、次第4の「会議録署名委員の指名」をさせていただきます。

柏谷良雄委員、小柳真理子委員にお願ひいたします。

次第5の「協議」に入らせていただきます。

はじめに「地域づくり事業補助金（地域枠予算Ⅲ型）交付申請額の変更」について、事務局の方から説明をお願ひいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

【地域づくり事業補助金（地域枠予算Ⅲ型）交付申請額の変更について、配布資料に基づき説明】

平成28年度第2回太田地域協議会において提出された「太田中学校被災地支援事業」について、当初予算額19万円、補助申請額15万円で承認を受けたが、その後事業費を精査したところ、予算額が36万円に増額となったことから、補助申請額についても30万円に変更を行うもの。

○会長

ただいま、地域づくり事業補助金の交付申請額の変更について、事務局の方から説明がありました。この件について皆さまからご質問・ご意見をお願ひいたします。

○支所長

補足させていただきますと、役所のバスが2台行く予定でしたけれども、実はマイクロバス、元の教育バスですけれども今年に入ってからあまりにも調子が悪くて、長距離には適さなくなってきました。大仙市内の部分はいいんですけれども往復400キロというのになかなか、ちょっと不安なものですから、その部分を含めて中学校からもう1回精査してもらって、当初のやつとは若干、7割方支所側の責任でもあるんですけれども。

ということで、今こういうふうな変更になったということで、なんとかご理解いただければなと思います。

○会長

皆さん一番疑問に思ったことを、今説明がありましたけれども。はい、大信田委員。

○大信田孝文委員（以下「大信田委員」と表記）

今説明を受けて、バスの調子が悪いというふうなことでまずやむなしという部分もあるんでしょうけれども、例えば他の地域の支所とかにあるバスもけっこうあると思うんだけど、例えばいろんな使用実態で他のバスを借りると言えばおかしいけれども、融通しあうようなそういうシステムというのはいないのでしょうか。

○支所長

大仙市内のバスはどの地域に走って行ってもいいし、どの地域でも予約できるようになっています。たまたま空いていないというのがありますし、別の予約が入っていて空いていないというのがありますし、被災地に向かう場合の時間帯もございまして、今業者委託している部分というのは太田で、他の方は職員の運転手が運転しているということで、それもちょっと問題はある部分なんですけれども、勤務時間が8時30分から17時15分ということで。うちの方は朝陽観光さんにバスを委託しているので普通に走った分、極端だけれども何時から何時まででもいいというふうな形で運行していますので、だから他の地区からの利用もかなり太田の場合があります、どうしても学校の出発時間が8時とかとなれば、職員が運転して行くには時間外を払わなければいけないとかという規定もございまして。まして7時頃から出発して行って、帰って来れば18時半、19時となるような勤務体系と、あと200キロ以上になると運転手を必ず2人付けなさいというふうな規定もございまして、そうなれば職員が運転しているバスにもう1人付いて職員2人で行かなければいけないという、そういう問題もございまして、一番使いいいのがやっぱり業者に委託している太田のバス。それが調子よければよかったですけれども、駄目だということで借り上げて行くというふうな形になっていますので、そこら辺もなんとかご理解いただければなと思います。

○会長

他にございませんか。

（「なし」の声あり）

○会長

質疑がないようです。

それでは、皆さんにお諮りいたします。変更申請のありました「太田中学校被災地支援

事業費補助金」について、申請のとおり変更してもよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ご異議なしということで、承認いただきました。

次に、「平成28年度地域枠予算執行事業」について、4項目ございます、事務局の方から説明をお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

【平成28年度地域枠予算執行事業について、配布資料に基づき説明】

・実施類型Ⅰ型

1. 首都圏「ふるさと太田会」活動支援事業

事業目的：ふるさと太田会の活動を維持・活性化していくために、東京周辺で開催される大仙市物産フェアや各種イベント等において、会のPRや太田地域の情報を発信するために、オリジナル半纏を作成するもの。

申請団体：太田支所市民サービス課

申請額：309,960円（消耗品費）

・実施類型Ⅱ型

1. 太田地域文化講演会開催支援事業

事業目的：太田地域に縁のある著名人による講演会を開催し、地域を見つめ直す契機とするとともに、地域活性化の一助とするもの。

申請団体：太田地域自治組織連絡協議会

申請額：182,000円（報償費、消耗品費、印刷製本費）

2. 川口集落桜並木保全事業

事業目的：川口運動広場内の桜並木は、地域住民による定期的な手入れは行っているものの、植栽から50年以上経過し、樹勢が弱まってきている他、テングス病罹患の枝も多数見受けられることから、桜並木が今後も美しい景観を保てるよう、罹患枝や枯損枝の除去を行うもの。

申請団体：川口部落

申請額：259,200円（使用料及び賃借料）

3. 太田地域芸術文化発表会（仮称）開催支援事業

事業目的：太田地域住民の日頃の文化活動の成果を発表、鑑賞する機会を提供することにより、芸術文化の振興を図り、心豊かな地域づくりを推進するもの。

申請団体：大仙市芸術文化協会太田支部

申請額：160,000円（報償費、消耗品費、印刷製本費）

○会長

ただいま、平成28年度地域枠予算執行事業について、事務局の方から説明がありました。皆さんの方からご質問・ご意見ございましたらお願いいたします。はい、水谷委員。

○水谷英明委員（以下「水谷委員」と表記）

ふるさと太田会の活動支援事業の方なんですけれども、使用の仕方として東京周辺で開催される大仙市物産フェアや市内外の各種イベント等においてということが書いていますけれども、ふるさと太田会以外にも何かある場合には貸し出しとかしてくださるということでもよろしいですか。

○支所長

お答えします。書き方がちょっとあれだったんですけれども、基本的には首都圏へ行く部分で、とりあえず全着東京に送ってやろうとは思っているんですよ。どうしても好評だとすればまた来年とか別のことでちょっと考えなければいけないかなと思うんですけれども。市の物産販売とかのときにどうしても各地域の首都圏、太田だけでなく仙北、神岡とか要請してもらってお手伝いしてもらっているんですけれども、そのときに他の方は着るものがあつたりするんですけども太田だけ無かつたりして。せっかくなので、大仙の物、太田の物を販売とかPRするときにやっぱりこういうのがあつて太田というやつを、ニコウキスゲと稲穂、田舎をさらにアピールするというふうなことでまずやっていますけれども、どうしてもそういう要請があればちょっと今後考えていかなければいけないかなとは思っていますので、まず今のところは全部首都圏分ということでご理解いただければと思います。

○水谷委員

あと1つなんですけれども、ちょっと不勉強なんですけれどもふるさと太田会の活動の概要とか紹介していただければと思うんですけれども。

○支所長

まず基本的には首都圏ふるさと太田会なので、関東方面で様々な活動をしているということと、あとふるさとを離れた人たちが集まって総会をやつてふるさとを偲んでと言つたらいいか、言葉は悪いんですけれども、元気づけてお互いに頑張りましょうということと、あとは毎年1回総会をやるときにこちらから市長、副市長を含めて、昔は町長、助役、それから職員が行つて交流して頑張ってくれているということと、あとは何かあつたときに、前も秋まつりなんかのときもあちらから来てもらつて、ここで一緒に活動してもらつたり、総会を首都圏ばかりではなくふるさと太田に来て活動してもらつというということと、それから

20周年のときに記念誌を出したりしています。あとで水谷委員が見たければその記念誌もありますし、主に活動の拠点は関東方面ということで、様々な形でふるさとをPRしたり、太田出身の人たちの親睦を図ったり元気になっていたり、いろいろとあるということで。今会長さんが今泉の小松さんという方で、ちょっと病気してしまってリハビリ中なんですけれども、11月に行われる首都圏ふるさと太田会の総会までいくらか回復してくればいいなとは思っていますけれども、というふうな現状です。

○水谷委員

分かりました。あちらの方でそういうふうに盛り上げてくれるのであれば、是非あっちで何か催し物があるときに協力したいなと思っていますので。

○会長

他に。はい、大信田委員。

○大信田委員

今の事務局の方からの説明の中で、現在の会員登録数は446人ですよというふうに書かれてありますけれども、実際には太田出身で向こうに行っている人たちというのはもっともっといっぱいいると思います。

○支所長

もっといます。

○大信田委員

それとさっきの説明の中で、だんだん高齢化というか。ということは、あまり若い人は登録会員になっていないということなんでしょうか。

それと先の移住・定住の部分の中で、例えばふるさと太田を離れて何十年も経っている人とか若い人とかで、やっぱり太田なり大仙の方に戻ってくるような、そういうPRもそうだしそういう流れを作っていたら。もっともっとふるさと会を通じた何か、そういう方面のイベントも考えてもらえばいいのかなというふうにちょっと今考えたところでした。

○支所長

太田はまだいい方なんです。南外とか神岡でもっと少ないんですよ、首都圏のふるさと会って。大仙一本にしてくださいよという要請は出ているんですよ、西の方からは。東の方はまだ、中仙も仙北もまだ会員数多くて。この地域もそういった意味で昨年からは首都圏ふるさと太田会を応援する会というのができまして、大信田哲男さんとか鈴木喜一さんとか先になってやってくれているんですけども。33歳とか42歳の同級会ってこちらでやりますので、その方々に首都圏ふるさと太田会があるよというパンフレットを作

って、今年から42歳の同級会と33歳と、あと還暦の方々の同級会にチラシでアピールして、是非とも会員になってくださいよとかというアピールをようやく始めたところでもありますので、今後またそれにつながって行って増えていってくれればなと思っていますので、なんとか親戚とか誰かいれば是非ともお声がけしていただければありがたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○会長

私去年ふるさと太田会の方に出席させていただきました。もちろん副市長とか行っても合併する前の人たちだからあまり親しみは沸いてこない。我々が行くとやっぱり喜んでもらって。こうやって応援する会を作ったのは太田が初めてなんですよ。大仙市の中では非常にインパクトがあるのではないかなと。そうやって応援したり、こっちのことを思ってくれていろんな提言してもらったり、これはこれからの大仙市のひとつの方向性としては非常に良かったと。大信田さんみたいに雪シンポの方で頑張っている、太田は非常に頑張っているというイメージは強みではないかなと思っています。

他にご質問ありませんか。

(「なし」の声あり)

○会長

前もって資料の方も送付してありますので、ご意見・ご質問はないものとしてよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ご異議なしということです。

それでは、皆様にお諮りいたします。まず最初に「首都圏『ふるさと太田会』活動支援事業」について、地域枠予算事業として承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ご承認いただきました。

次に「太田地域文化講演会開催支援事業」について、これについても地域枠予算事業として承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ありがとうございます。ご承認いただきました。

次に、「川口集落桜並木保全事業」についても地域枠予算事業として承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ご承認いただきました。

最後に「太田地域芸術発表会（仮称）開催支援事業」について、地域枠予算事業として承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ありがとうございます。全ての事業を承認いただきました。

以上で、地域枠予算執行事業の協議の方は終わらせていただきます。

次に、次第の6の「その他」に入ります。委員の皆様から何かございませんか。はい、水谷委員。

○水谷委員

先ほど天気のこととかいろいろありましたけれども、残暑がすごい厳しくて、今年もすごく長くなりそうなんですけれども、最近介護の方で回っていますと具合を悪くしている高齢者の人とかがたまにいて、入院とかする方もいらっしゃるんですけども、やはりこれだけ暑くなると途中で倒れる人もけっこう出てくるようなので、介護関係で入っていると大体1日2回とかって入ったりして見れるんですけども、元気な高齢者の方と言いますか、そういうサービスを受けていらっしゃる高齢者世帯の方とか一人暮らしの方などは、やはり見る必要もあるのかなということもちょっと考えています。介護業界も要請があれば回ったりはするんですけども、そういう脱水とか、そういうふうな対策とかそういうのも必要になってくるのかも知れないというような感じを受けています。

○支所長

大変貴重なご意見ありがとうございます。介護関係の部分と包括支援センター等々、いろいろ関係のところには地域協議会でこういうふうな意見が出て啓発活動の方、当然行わなければいけない部分もありますし、今たまたまうちの方保健センターが中仙と一緒にあって保健師たちみんなあっちに行ってしまうんですけども、そういった方々とも連携しながら、そういう話があるということをお伝えして、ひとつお願いする部分はお願いでして。地元で協力してくれるところもあるよというお話もさせていただきたいと思いま

すので、なんとかよろしくお願ひしたいと思ひます。

○会長

他にございませぬか。はい、根本委員。

○根本昇委員（以下「根本委員」と表記）

農林建設課の方にちょっとお伺ひしたいと思ひます。今うちの方と言へばいいか、何年前からですけれども田んぼの整理ということでかなり整備されてきてはいますが、この前ちょっと来たお客さんで水が濁ってきたということで、皆地下水だろうからまず役所に聞いてみたらと言ったんだけど、そういった地下水を使っている人たちもけっこう多いと思うんだけど、そういったことについてはどういふふうになっているのかなと思ひて、ちょっとそこら辺をお伺ひしたいと思ひます。

○煤賀農林建設課長（以下「煤賀課長」と表記）

地下水については、土地改良事業をやる前に何カ所か削井というか、仮井戸、調査井戸を掘って水位の調査とか汚れの調査をしているところです。事業主体は秋田県の土地改良事業ですので、そちらの方で工事の一環として調査をしております。実際問題としまして、今根本さんが言ったとおり工事が始まりますと井戸が濁ったとか出なくなったとかという話は多々あります。その度に県なり事業主体の田沢疏水とかで調査しまして対応をその都度協議しているところです。ひどくなれば井戸のつき直しということもあり得るかと思ひますけれども、まず工事中はそういった状況で、何カ月か何年かすればその井戸も収まる場合も多々ありますので、ケースバイケースで相談していただきたいと思ひているところです。

○根本委員

それで、一人暮らしの母さんとかあまり役所に馴染みのない一般の人たちにしてみれば、どうすればいいのかという気持ちでいるみたいなので、そこら辺ちょっと聞いてみたところです。懇切丁寧なフォローをしていただければと思ひます。

○煤賀課長

分かりました。地元にも土地改良事業の工事委員とか役員の方々がたくさんいると思ひますので、その方々がもし分からなければ市の方へ問い合わせしてもらっても結構ですけれども、その工事委員の方にお話ししてもらえば通じるようになってはいますので、よろしくお願ひします。

○根本委員

それから別の話ですけれども、今回もふるさと太田会から芸術発表会までいろいろ事業案件が出てはいますけれども、この案件、必要ないものもあるかと思ひますけれども、事業

をしたあとの、どうだったのかみたいなものを見たことが今まで何もなかったような気がしますけれども、補助事業していいことだったと、皆いい事業ばかりあるんだけれども、どういう結果だったのか、成果だったのか、もうちょっとこうすれば良かったのではないかというような、そういうものがあってもいいのかなと思いますので、もし出せるのであれば出してもらえればと思います。

○支所長

ありがとうございます、貴重なご意見。当然補助事業であれば実績報告とかが上がってきていますので、そういうのも含めてもっともっと皆さんに開示していきたいと思いますので、なんとかよろしくお願ひしたいと思います。

○会長

よろしいですか。他にございませんか。はい、水谷委員。

○水谷委員

前にちょっと相談しに伺ったことがあったんですけども、部落にある公園の遊具なんですけれども、壊れて修復とかが必要になったりしていて、結局それを直す方法はないのか聞いたら、けっこう新しくするとかなり高い額になるとかというような話で、なかなか難しいということなんですよね。隣の小曾野とかになると確か遊具が無くなったような感じがするんですけども、そういう遊ぶものがどんどん無くなって行って、隣の部落の子が北開に遊びに来たりとかというふうになっているんですけども、そういう遊具をなんとか設置できるようなうまい制度とかというのはないものでしょうか。

○煤賀課長

遊具については毎年専門の業者さんから点検をしていただいているところです。その中でいろいろ、安全に使用できるもの、修理が必要なもの、または使用できないものというような段階を経た調査結果をいただいているところです。使用できないということになりますと撤去という形でやらせていただいております。ただ、撤去についても地元の人たちと相談しながら、これはもう使っていないから撤去してもいいといったものについては撤去を、修理できるものについては予算を計上しまして修理して使っておるところです。ただ、今は修理もなかなか予算がつかないというような現状ですので、新たに遊具を設置するとなるとかなり経費がかかるのかなということで考えております。ただ、それは予算要求しないとつかない話ですので、もし必要な遊具があったら地元の公園の管理団体を通して要望していただきたいと思います。

○支所長

補足ですけれども、今年神岡地域で市長面会日のときに、悪くなったやつを撤去してもいいけれども、必要だという部分もあるので作ってほしいという要望は出ていました。そ

うというのが他の地域もあるだろうということで、多分来年度の予算に関してはもしかすればちょっと違った毛色になる可能性もありますので、その部分も来年に向けて。こちらの方はこちらの方でまた農林建設課の方で主体となってやってくださると思うので、何かあればお話ししていただければなと思いますので、よろしくお願いします。

○会長

他にございませんか。はい、高橋委員。

○高橋文子副会長

この前バスの利用のことについて皆さんにお話ししたときに、私の意見を早速取り入れていただいて、羽後交通のバスで大曲まで向かうという、そういうのを早速やっていただいて嬉しく思ったんですけども、9月29日に今度は大仙市の方で大曲から太田の方にバスで委員の方が乗ってきて、いろいろな意見を述べるというような会議があるみたいなんです。それで、この前太田の方で委員の人たちがみんな大曲まで乗って行ったときに何かしら感じたこととかあったのであれば、その会議のときに私がみんなに伝えたいなと思って、何か思ったことを聞きたいと思います。

○福原市民サービス課参事

地域公共交通について9月29日に再生協議会で大曲から長信田線に乗って、ここで会議を開くというような予定であります。そのときに、今は長信田車庫前までで止まっているバスを奥羽山荘まで延ばして、山荘で大曲それから仙北地域からのグラウンド・ゴルフで使えるというような、長信田線を奥羽山荘まで伸ばすというような計画です。そのときに、現在は長信田車庫までですので、長信田車庫から奥羽山荘まで今度は市のバスに乗り換えて、そのコースを委員の方々に見てもらうというふうな予定です。それと、今は中里温泉のところも羽後交通のバスは仙北からまっすぐ中里に抜けているので、そこをクルッと中里温泉前まで回って行けるコースということで、そこも委員の方と一緒に回ってもらうというような予定です。長信田線は今年から市で委託して運営していますので、そのコースについては市で決めることができるので、再生協議会の委員の方々からコースを回ってもらって、新しいコースにしたいということで会議を開催する予定です。

○支所長

その他にこの地域としてこうだよというご意見があればお寄せいただければ、せっかくですのでその会議のときにお話しすればいいかなと思いますけれども。高橋委員の方にあとでもいいのでお伝えいただければ。

○会長

いろいろ難儀かけていますので、そういういろんな意見を出してもらおうと助かるだろうと思います。

その他で、他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○会長

ないようです。

皆様からは住民の意見をいろいろ聞いてお話ししてもらおうということになっています。こうやって皆さんから意見を出してもらってありがとうございます。ここへ来てちょっと場違いかなとか、こういう意見を出していいのかなとか、そう思うわけですがけれども、何でもいからこうやって出していただければ。大変今日は大変良かったと思います。

それでは、事務局の方からその他で。

○事務局（地域活性化推進室）

【移住・定住に関する意見書の提出について報告】

○会長

移住・定住に関しては参加された方、出席できなかった方もございます。日にちを伸ばしましたので、もし意見がありましたらということでしたので、どうかよろしく願いします。

それから、大仙市の雪シンポジウムでは大信田委員それから田の尻の水谷さん、大変ご難儀かけました。お二方から頑張ってください、太田として大変誇りに思いました。ありがとうございます。

ということで、本日の議題となりました案件の協議は全て終了いたしました。

これをもって閉会といたします。長時間ありがとうございました。

(午後 2時55分 閉会)

太田地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

柏谷良雄

小柳真理子
